

星の花が降るころに

安東みさえ



【学習活動】
「自分の
がくしゅうかくつぶく」
場面や描写を結び付けて読み、自分の
ばめん ジョウメイをひきよしや おとづれしや むすびつけよみ、じぶんの
解釈を語り合おう。
かかいしゃく あわせしや おとづれしや おしゃべりあわせしや おしゃべりあわせしや

銀木犀の花は甘い香りで、白く小さな星の形をしている。そして雪が降るよう
に音もなく落ちてくる。去年の秋、夏実と二人で木の真下に立ち、花が散るのを
長いこと見上げていた。気がつくと、地面が白い星形でいっぱいになっていた。
これじゃふめない、これじゃもう動けない、と夏実は幹に体を寄せ、一人で木に
閉じ込められた、そう言つて笑つた。

——ガタン！

びっくりした。去年のことをぼんやり思い出していたら、机にいきなり戸部君
がぶつかってきた。戸部君は振り返ると、後ろの男子に向かってどなつた。

「やめろよ。押すなよなあ。俺がわざとぶつかったみたいだろ。」

自習時間が終わり、昼休みに入った教室はがやがやしていた。

私は戸部君をにらんだ。

「なんか用？」

「宿題をきこうと思つて来たんだよ。そしたらあいつらがいきなり押してきて。」

戸部君はサッカー部の誰かといつもふざけてじやれ合つてゐる。そしてちょつ
としたこづき合いが高じてすぐに本気のけんかになる。わけがわからない。

塾のプリントを、戸部君は私の前に差し出した。

「この問題わかんねえんだよ。『あたかも』という言葉を使って文章を作りなさ
い、だつて。おまえ得意だろ、こういうの。」

私だつてわからない。いつしょだつた小学生のころからわからないままだ。な
んで戸部君はいつも私にからんでくるのか。なんで同じ塾に入つてくるのか。な
んでサッカー部なのに先輩のように格好よくないのか。

「わかんないよ。そんなの自分で考へなよ。」

隣の教室の授業も終わつたらしく、椅子を引く音がガタガタと聞こえてきた。

私は戸部君を押しのけるようにして立ち上がると廊下に向かつた。

戸部君に関わり合つてゐる暇はない。今日こそは仲直りをすると決めてきたの
だ。はられたポスターや掲示を眺めるふりをしながら、廊下で夏実が出てくるの
を待つた。



夏実とは中学に上がつてもずっと親友でいようと約束をしていた。だから春の間はクラスが違つても必ずいつしょに帰つていた。それなのに、何度も小さな擦れ違いや誤解が重なるうち、別々に帰るようになつてしまつた。おたがいに意地を張つていたのかもしれない。

お守りみたいな小さなビニール袋をポケットの上からそつとなでた。中には銀木犀の花が入つてゐる。もう香りはなくなつてゐるけれどもわないので、去年の秋、この花で何か手作りに挑戦しようと言つてそのままになつてゐた。香水はもう無理でも試しにせつけんを作つてみよう、そして秋になつたら新しい花を拾つて、それでポプリなんかも作つてみよう……そういだすのをきつと待つてゐるはずだ。

誘つてみるつもりだつた。夏実だつて、私から夏実の姿が目に入つた。教室を出てこちらに向かつてくる。

そのとたん、私は自分の心臓がどこにあるのかがはつきりわかつた。どきどき鳴る胸をなだめるように一つ息を吸つてはくと、ぎこちなく

足をふみ出した。



「あの、夏実——」

私が声をかけたのと、隣のクラスの子が夏実に話しかけたのが同時だつた。夏実は一瞬とまどつたような顔でこちらを見た後、隣の子に何か答えながら私からすつと顔を背けた。そして目の前を通り過ぎて行つてしまつた。音のないこまわりの映像を見ているように、変に長く感じられた。

騒々しさがやつと耳に戻つたとき、教室の中の戸部君がこちらを見ていることに気づいた。私はきっとひどい顔をしている。唇がふるえているし、目のふちが熱い。きまりが悪くてはじめられたようにその場を離れると、窓に駆け寄つて下をのぞいた。裏門にも、コンクリートの通路にも人の姿はない。どこも強い日差しのせいで、色が飛んでしまつたみたい。貧血を起こしたときに見える白々とした光景によく似ている。

私は外にいる友達を探しているふうに熱心に下を眺めた。本当は友達なんてないのに。夏実の他には友達とよびたい人なんて誰もいないのに。

帰りは図書委員の集まりがあつたせいで遅くなつた。のろのろと靴を履きかえていると、校庭からサッカー部のかけ声が聞こえてきた。もう九月というのに、昨日も真夏日だつた。校庭に出ると、毛穴という毛穴か

15 漢 遅 10 音 貧血(ヒンケツ) 8 漢 駆 7 漢 唇 6 漢 戻 5 読 4 訓 背ける(そむける)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)

15 漢 遅 10 音 香水(コウスイ) 8 漢 擦 7 漢 誘 6 漢 驅 5 読 3 意地を張る(いじをはる)



立ち上がりつて水道の蛇口をひねつた。水をぱしゃぱしゃと顔にかけた。冷たかった。とけ出していた魂がもう一度引っ込み、やつと顔の輪郭が戻ってきたような気がした。

てのひらに水を受けて何度もほおをたたいていると、足音が近づいてきた。後ろから「おい」と声をかけられた。戸部君だ。ずつと耳になじんでいた声だからすぐわかる。

顔を拭きながら振り返ると、戸部君が言った。

「俺、考えたんだ。」

ハンドタオルから目だけを出して戸部君を見つめた。何を言われるのか少しこわくて黙つていた。

「ほら、『あたかも』という言葉を使って文を作りなさいってやつ。」

「ああ、なんだ。あれのこと。」

「いいか、よく聞けよ……おまえは俺を意外とハンサムだと思つたことが——」にやりと笑つた。「——あたかもしれない。」

やつぱり戸部君つて、わけがわからない。

二人で顔を見合させて吹き出した。中学生になつてちゃんと

「おもつたことが——」にやりと笑つた。「——あたかもしれない。」

やつぱり戸部君つて、わけがわからない。

二人で顔を見合せて吹き出した。中学生になつてちゃんと

ら魂がぬるぬるとけ出してしまった。暑かつた。

運動部のみんなはサバンナの動物みたいで、入れかわり立ちかわり水を飲みにやつて来る。水飲み場の近くに座つて戸部君を探した。夏実とのことを見られたのが気がかりだつた。纖細さのかけらもない戸部君だから、みんなの前で何を言いだすか知れたものじやない。どこまでわかっているのか探つておきたかった。

だいたいなんであんな場面をのんびりと眺めていたのだろう。それを考へると弱みをにぎられた気分になり、八つ当たりとわかつてもにくらしくてしかたがなかつた。

戸部君の姿がやつと見つかつた。

なかなか探し難いはずだ。サッカーの練習をしているみんなとは離れた所で、一人ボールを磨いていた。

サッカーボールはぬい目が弱い。そこからほころびる。だから砂を落としてやらないとダメなんだ。使いたいときだけ使つて、手入れをしないでいるのはだめなんだ。いつか戸部君がそう言つていたのを思い出した。

日陰もない校庭の隅っこで背中を丸め、黙々とボール磨きをしている戸部君を見ていたら、なんだか急に自分の考へていたことがひどく小さく、くだらないことに思えてきた。

| | |
|--------|----------|
| 1 漢 魂 | たましい |
| 2 サバンナ | 熱帯・亜熱帯地方 |
| 3 輪郭 | 輪郭 |
| 4 細 | せんさい |
| 5 探る | (さぐる) |
| 6 なじむ | （111ページ） |
| 7 漢 拭 | ぬぐう |
| 8 意外 | いがい |
| 9 類 | るい |
| 10 黙 | だまつ |
| 11 漢 陰 | かげ |
| 12 文 | ふみ |
| 13 漢 隠 | かがめる |
| 14 意外 | いがい |
| 15 黙 | だまつ |
| 16 漢 繊 | せん |
| 17 細 | せんさい |
| 18 意 | いがい |
| 19 魂 | たましい |
| 20 繊 | せん |
| 21 意 | いがい |

草原。雨季と乾季がはつきりと分かれている。サバナともいう。

